

大田区スポーツ推進・健康街づくり 全体構想案（骨子） ～ 2020東京オリンピック・パラリンピック、そしてその後に向けて～

■目的

- ・「する、みる、支えるスポーツ」による「スポーツ健康都市宣言」の具現化
- ・スポーツを中心にした街づくり、コミュニティづくり
- ・スポーツ・文化・産業の振興と国際都市おおたの実現

★課題

- ①スポーツによる健康で豊かな暮らしの実現
- ②スポーツによる経済活性化
- ③2020オリンピック・パラリンピック以後も持続可能な「スポーツ健康都市」づくり

■役割

- 1) 関係部局、関係団体との連携・調整。
- 2) 必要予算づくり。

■オリンピック・パラリンピック担当の設置

- 1) 区全体でのキャンペーン
- 2) ハード・ソフトの充実（新空港線・空港跡地活用・事前合宿やスポーツイベント誘致）

■役割

- 1) スポーツを通じて区民の健康づくり
- 2) スポーツを通じて地域の賑わいと活力増進。
- 3) スポーツを通じてココロとカラダの教育。
- 4) 地域総合型スポーツクラブの活動&設立支援。
- 5) スポーツを通じた障害者の雇用促進。

■大田区内の地域総合型スポーツクラブとの連携

- 1) 各種スポーツ教室、健康づくり教室実施。
- 2) おおた地域スポーツネットワーク会議の開催。
- 3) おおたスポーツ健康フェスタの実施。
- 4) FACEBOOK「おおた地域スポーツクラブネットワーク」によるスポーツ活動・イベント情報の発信。
- 5) スポーツ関連ポータルサイトでの情報公開。
- 6) 大田区商店街連合会との提携。
- 7) 障害者スポーツのPR。

■役割

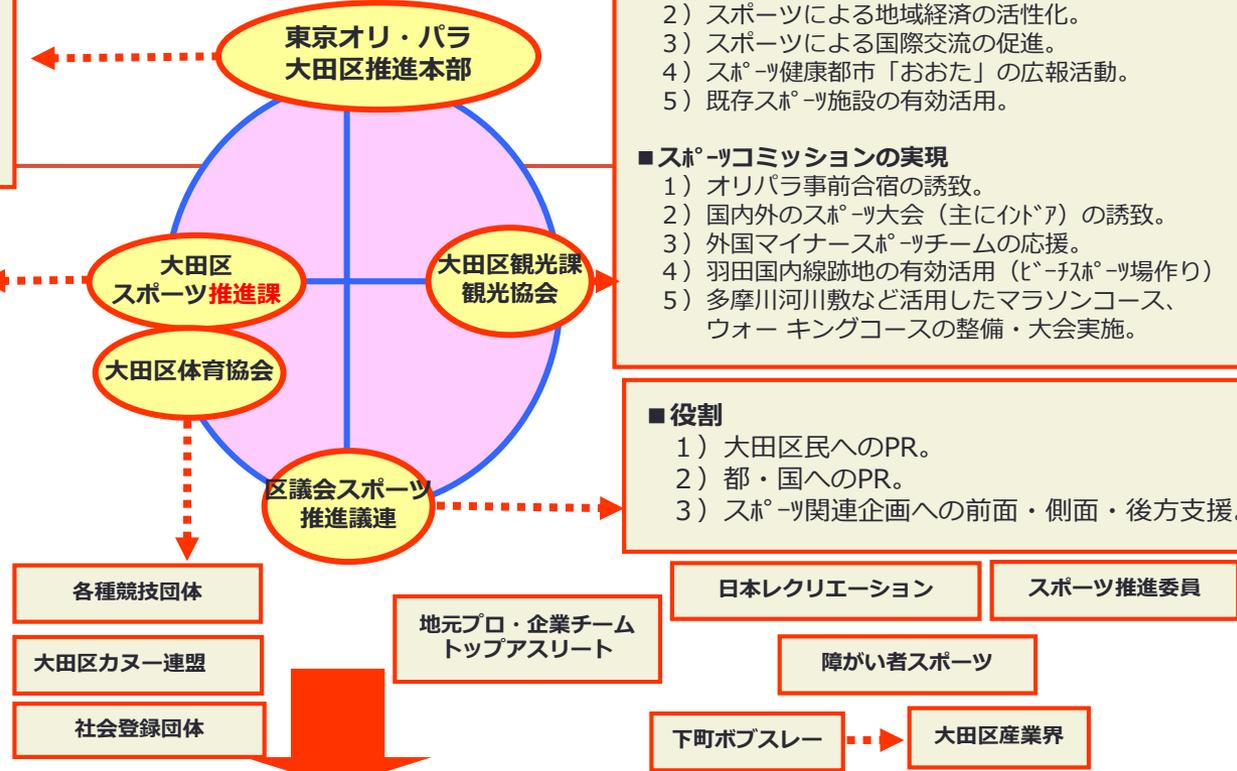
- 1) スポーツによる観光事業（国内・国外）の促進。
- 2) スポーツによる地域経済の活性化。
- 3) スポーツによる国際交流の促進。
- 4) スポーツ健康都市「おおた」の広報活動。
- 5) 既存スポーツ施設の有効活用。

■スポーツコミッションの実現

- 1) オリパラ事前合宿の誘致。
- 2) 国内外のスポーツ大会（主にインドア）の誘致。
- 3) 外国マイナースポーツチームの応援。
- 4) 羽田国内線跡地の有効活用（ヒートスポーツ場作り）
- 5) 多摩川河川敷など活用したマラソンコース、ウォーキングコースの整備・大会実施。

■役割

- 1) 大田区民へのPR。
- 2) 都・国へのPR。
- 3) スポーツ関連企画への前面・側面・後方支援。



2020東京オリ・パラ以後、国際空港のある街「国際スポーツ健康都市おおた」の実現